

さて、新年1発目の坂井先生コラム。坂井先生今年もどうぞ宜しくお願いします！と、言う事で、坂井先生今年はなかなか辛口発進ですね☆でも確かによくある話ですね。一度、某支援者向けの講演会のワークショップで「目を見て話す」カードや「ダメ」カードを作ってる方が居ました。僕の話聞いて無かったでしょ？ってねww そんな時も僕の伝え方がいけなかったんだと反省します(^_^;) 僕の話は「解りやすい」が売りなんですね。『わかるように伝えてありますか?』ですよ☆ 久田

第65回 『わかるように伝えてありますか』

香川大学 坂井 聡

コミュニケーション障がいについて考えてみる

コミュニケーション指導の在り方についていろいろ思いをめぐらしていると、あることに気が付いたのです。それは、コミュニケーションというのは、相手がいて初めて成り立つというものです。とするならば、コミュニケーション障がいというのは、一方だけにあるものなのかと考えさせられたのです。

自閉症スペクトラムのある人にはコミュニケーション障がいがあります。これは診断基準の中に位置づけられています。自閉症スペクトラムという診断を受けたということは、コミュニケーション障がいがあるということになります。その他にも、社会性の障がいと想像力にも障がいがあるということになります。このように考えると、自閉症スペクトラムの診断がない人には、コミュニケーションに障がいはないということになるし、社会性にも想像力にも障がいはないということになります。しかし、これって本当だろうかと思ったのです。

学校の先生方の悩みを聞いていると、「私の言っていることを理解してくれません。」「なぜ、パニックが起こるのか分かりません。」「どうしてそのような行動をしたのか分かりません。」「この子は、どう考えているのでしょうか?」といった質問を受けます。相手の子どもは自閉症スペクトラムの診断を受けています。ということは、上記に示した3つの障がいがあるということです。しかし、先の悩みをもっている先生は、自閉症スペクトラムの診断を受けていない人です。ということは、上記に示した障がいはないということになります。なぜ、コミュニケーションに障がいのない人が、自閉症スペクトラムのある人にコミュニケーション上の配慮ができなくなってしまうのでしょうか。なぜ、想像力を働かせて自閉症スペクトラムのある人がどのように感じたのか想像できないのでしょうか。

自閉症スペクトラムの診断基準を考えたとき、それは、一般といわれている人たちが、少し違った感覚を持つ一部の人に対してつけた診断名ではないかと感じてしまうのです。逆の立場から考えれば、つまり、自閉症スペクトラムのある人から言えば、先生のほうにコミュニケーション障がいがあり、社会性に障がいがあり、想像力に障がいがあるということになるのではないかと感じてしまうのです。

新しい年がはじまりました。新年にあたりもう少し子どもとのコミュニケーションについて考えてみませんか。自閉症スペクトラムのある人だけにとどまらず、みなさん、コミュニケーションできているのでしょうか?

坂井聡先生の紹介

(プロフィール)

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭、香川大学教育学部障害児教育コース准教授を経て、現在は国立大学法人香川大学教育学部教授。1997年 自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。その軽快なしゃべり、人柄からか、大阪では絶大な人気を誇る。

(著書)

暮らしの中のコミュニケーション(やまびこの里) クラスルームコミュニケーション(こころリース出版会) 自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア(エンバメント研究所)など